

---

# 定番相談室にて語るを騙る

椎名湊

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

定番相談室にて語るを騙る

### 【Nコード】

N1129X

### 【作者名】

椎名湊

### 【あらすじ】

幸か不幸か、定番ストーリーの登場人物の方々が抱く「ああ、あるある」といった悩みや疑問に、水無瀬湊と羽鳥アヤメの二人がおもしろおかしく答える企画。

Q・i（前書き）

> i 3 2 0 2 3 | 4 0 7 2 <

「よっしやあ、ばっち来い！」

「やっば、あんたに堅苦しいのは似合わんね」

## Q・i

相談者：

頑固者の豆腐職人さん

Q1・わしは数ヶ月前から胃潰瘍で入院しているのだが、最近家族の様子がどうもおかしい。息子は高そうな花を持って毎日見舞いに来るし、娘はわしが『孫の顔が早くみたい』などと言つと、顔を背けて『お水替えてくるね』と花瓶を持って部屋から出て行くし、いったいどうしたんじゃろうか？

A1・胃ガンです。しかも末期です。ちなみに息子さんは遺産目当てなので、遺産は娘さんの結婚資金にするとよいでしょう。では、お大事に。

## Q・1（後書き）

私がE エブリスタで完結した作品を改稿しながらの投稿です。9  
/28から、毎日相談を5〜10題の投稿予定です。表紙もE E  
ブリスタの友人に描いていただきました。

Q・2

相談者：

世界征服を目論む軍団員さん

Q2・先ほど私の組織に潜入した男をボコにして、とどめを刺そうとしたら『冥土の土産に聞かせてくれ』などとほざきます。そいつの懇願を無視してあっさり殺すのもなんだか味気ないし、教えてやってもいいですか？

A2・絶対にだめです！ 奴はまだ力を隠しています。冥土の土産話を教えた瞬間に殺られます。『教えてやるから耳を貸せ』とでも言つて、背後からとどめをさしましょう。慈悲は無用です。では、くれぐれも気を付けて。

## Q・3

相談者：

都内にお住まいの中学生さん

Q3・僕は今日、公園でこの辺りでは見かけない女の子と知り合ったのですが、住んでいるところも電話番号も聞かずに別れてしまいました。

どうしても彼女のことを忘れられません。もう一度、彼女と会う良い方法はないでしょうか？

A3・大丈夫です。彼女は明日あなたのクラスに転校してきます。あなたの隣の席が空いているのなら間違いないと思います。

では、彼女の誕生日プレゼントをいとお姉さんと買いに行つて、彼女に誤解されないように祈っています。

Q・4

相談者：

夜勤中の警備員さん

Q4・少し前に不振な物音が聞こえ、同僚が「すぐ戻る」と言っ  
て宿直室から出ていったまま、なかなか戻ってきません。捜しに行っ  
た方がよいでしょうか？

A4・無駄です。彼はすでに殺されてます。あなたも大変危険な状  
況なのでよく聞いてください。

まず、同僚の死体を絶対に見つけてはいけません。悲鳴を上げた  
瞬間に何者かに殺されます。かといって部屋の中には、宿直室  
のドアが開いて、あなたが「遅かったじゃ……」と言ったあたりで  
殺されます。

では、どうすればよいか。答えはひとつしかありません。同僚の  
死体を見つけないように外に出て助けを求めましょう。

では、健闘を祈ります。

## Q・5

相談者：

つぶれかけのラーメン屋のご主人さん

Q5・私の店は、意地の悪い大手のラーメン屋が隣に建ってからというもの、客はさっぱり来ず、とうとう今日で店を閉めることにしました。営業時間も終わり、のれんを外そうとしていると、身なりのいい老人が『なんか食わせてくれんか』と言って来ました。私としては早く後片づけを済ませたいのですが、どうしたらよいでしょうか？

A5・これはラッキーですね。その老人は有名な料理評論家に違いありません。

あとはラーメンを作りながら、『あなたが最後の客』『もう、私のような昔かたぎの人間は……』というキーワードを織り交ぜながら話せば、数日後にはあなたの店は雑誌に紹介されて大繁盛することとは確実です。よかったですね。

Q・6

相談者：

国際的麻薬組織の幹部の方

Q6・実は今、私のアジトに潜入した男と私の部下数十名が派手に撃ち合っているのですが、相手はたった一人なのにかすり傷程度しか与えられません。私の部下はすでに半数は殺られました。いくら昔は特殊部隊にいたとはいえ、強すぎます。

どうすればこいつを倒すことができるでしょうか？

A6・不可能です。彼に銃は利きません。肉弾戦でもかなりの強さです。

おとなしく銃を捨て撤退しましょう。早く逃げないとアジトごと爆破されます。

## Q・7

相談者：

決勝戦を控えた選手さん

Q7・僕は明日、決勝戦で因縁のチームと戦うのですが、とても僕達の力では勝てそうもありません。勝つ方法はないんでしょうか？

A7・あります。まずみんなが寝静まってから、秘密特訓を開始してください。スタミナやコンディションなんか気にしてはいけません。

他のメンバーが気付いて特訓に参加してきたらしめたもの。間違いないく必殺技が完成します。完成間近で朝が来ても構いません。試合ではきつと成功します。

では、健闘を祈っています。

Q・8

相談者：

夜勤中の警備員さん

Q8・度々すいません。さっきの警備員です。

あの、せっかくアドバイスしてもらったのに死体を見つけてしまいました。ど、どうしましょう？

A8・これは不幸中の幸いですね。見つけた瞬間には殺されませんでしたか。

でも、油断は禁物です。いいですか、まず電話は絶対に掛けてはいけません。掛けてる最中に背後から殺られます。

それから、背中を向けている人には絶対に声を掛けてはいけません。犯人か、すでに死体になっている人に違いありません。

あとは慌てずに外に出て、助けを求めましょう。

では、くれぐれも気を付けて。

Q・9

相談者：

ペンションオーナーさん

Q9・こんな山奥で気づいたら血の付いたナイフを持っていました。私は誰かを殺してしまったのでしょうか……？

A9・これは陰謀です。もうすぐ誰かが部屋に入ってきて来て、あなたは殺人犯扱いされます。その前に急いでナイフの指紋を拭き、そこからへんに捨てましょう。後は部屋が密室にされている恐れがあるので、鍵を開けて人が来るまで気絶した振りをするか、もし死体を発見したら、悲鳴を上げてから、腰を抜かした状態で死体を指さして震えていれば、あなたも立派な被害者か第一発見者の仲間入りです。あつ、でもあなたが小さいころ虐待を受けていたらもう一人のあなたが殺っちゃったのかもしれない。

## Q・10

相談者：

新米刑事さん

Q10．こんにちは。私は今、殺人事件の聞き込みをしているのですが、事件に関係ある情報がなかなか得られません。なんとか重要な情報を手に入れる方法はないのでしょうか？

A10．すでに重要な情報を聞いている可能性があります。話を聞いていて『あつ、そういうえば事件とは関係ないとは思いますが……』などと聞いたことはありませんか？ この後に続く話は、必ず事件を解く重大なヒントになっています。

逆にいかにも事件に関係ありそうな話はフェイクなので気を付けましょう。

では、たまたま注意した相手が犯人だったなんてことにならないよう、気を付けて聞き込みを続けてください。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1129x/>

---

定番相談室にて語るを騙る

2011年9月29日13時08分発行